

1 単元 PROGRAM 5 国際フードフェスティバル

2 単元の目標

- (1) 言語活動に積極的に参加し、相手とコミュニケーションをとろうとする。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (2) 身の回りのものを紹介したり、説明したりすることができる。行きたい場所について、述べたり、質問したりすることができる。(外国語表現の能力)
- (3) 本文の内容を理解し、リサイクル等の活動について考えることができる。(外国語理解の能力)
- (4) this is / that is, 疑問詞 where, 三人称主格 he/ she 等の用法を理解し、運用している。
(言語や文化についての知識・理解)

3 指導にあたって

(1) 教材観

この単元では、フードフェスティバルを題材に、食を通じた異文化理解を促進したり、さらに外国の文化について英語で表現したりすることをねらいとしている。言語材料としては、this / that, where is - ?, he / she を取り扱っている。

(2) 生徒の実態

男女の仲もよく、ペア活動やグループ活動に意欲的に取り組む生徒であり、英語の授業を楽しみにしている生徒も多い。一方で、授業になんとなく参加している生徒も多く、単語を書いて覚えるという地道な学習を続ける生徒は多くない。家庭学習の指導を継続して行っており、その成果が少しずつ見え始めている。授業では、男子同士、女子同士でペアを組ませており、リーダーとフォロワーの関係になっている。授業などで分からない部分があれば、すぐに隣の席の生徒に聞いたり、教えてあげたりする雰囲気がある。日頃からの家庭学習指導と期間指導などを行いながら、生徒の英語力向上に努めていきたい。

(3) CAN-DO リストについて

本単元は、単元末に「海外旅行に行こう！」という旅行代理店での店員と客の言語活動を計画している。この活動は、CAN-DO リストで言えば、Speaking のレベル3「相手に対して、即興的に質問することができる（それに対して答えることができる）」に相当するイメージである。また、この言語活動は、小学校の WANT TO-DO リストの中の「聞くこと」のレベル5「相手が行きたい国がどこかを聞いている」、「話すこと」のレベル5「相手に行きたい国をたずねたり、答えたりする」を受けての言語活動になっており、小学校外国語活動での WANT TO-DO リストを生かした指導を行っていきたいと考えている。

4 指導計画 (8時間扱い)

時	学 習 活 動	関	表	理	言	評 価 計 画
						評 価 規 準
1	・ガイダンス及び一般動詞の復習				○	本課の学習の見直しをもつ(復習)
2	・this is を用いた言語活動	◎			○	this/that を運用することができる。
3	・p. 51 の本文理解等			◎	○	p. 51 本文の内容が理解できる
4【本時】	・where do you を用いた言語活動・		○			where を用いて質問できる
5	・where を用いた言語活動	◎			○	where を運用することができる
6	・p. 53 の本文理解等			◎	○	p. 53 本文の内容が理解できる
7	・he / she を用いた言語活動	◎			○	he/she を用いて話すことができる。
8	・p. 55 の本文理解等			◎	○	p. 55 本文の内容が理解できる
9	・言語活動「海外旅行に行こう！」	◎	◎			既習次項を用いて話すことができる
10	・本課のまとめ(振り返り)		○		◎	既習事項を用いて、英作文ができる

5 本時の指導

(1) 目標

- ・言語活動に積極的に参加し，コミュニケーションをとろうとしている。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・名詞の複数形の表現を理解し，運用している。
(言語や文化についての知識・理解)

(2) 準備・資料

My Plan (自作補助教材)，ワークシート，生徒提示用ピクチャーカード，学習カルテ

(3) 展開

学習内容・活動	指導上の留意点 (○は個への配慮)・評価
<p>1 My Plan (副教材) を用いてウォームアップ，帯活動を行う。</p> <p>(1) LET' S TALK (2) THE CHANTS (3) SUPER INPUT</p> <p>2 本時の学習内容を確認する。 どこにあるのかたずねられるようにしよう。 本時の学習内容を，学習カルテに書く。</p> <p>3 オーラルイントロダクションを聞く。 Hi, Friends! (小学校外国語活動教科書) を用いて (デジタル教科書)，本時で学習する表現を理解する。(小学校外国語活動で学習したことを思い出す)</p> <p>4 言語活動「どこに行きたい」を行う？ (1) 自分の行きたい場所を選ぶ。 e.g. I want to go to Italy. Because I want to eat pizza. (2) 活動のデモンストレーションを見る。 (3) 友人にどこに行きたいかを聞きメモを取る。 A: Hi, where do you want to go? B: I want to go to Italy. A: Why do you want to go? B: Because I want to eat pasta. (4) グループでインタビューの結果を共有する。 (5) グループで，このクラスの人気の旅行場所を報告する。</p> <p>6 本時のまとめを行う。</p> <p>7 学習カルテの記入を行う</p>	<p>・短い時間でテンポよく，できるだけ多くの英語を話すようにタイマーを用いて指導する。 ○活動が滞っているペアには，机間指導を行い，ペア活動を支援し，自信をもたせる。</p> <p>・デジタル教科書を用いて，表現の導入を行い，生徒とのインタラクションの中から Where do you want - ? の概念を導きだしたい。 ・生徒の様子を見て，必要に応じて，want to - の導入も，デジタル教書を用いて行う。</p> <p>・まずは，ペアでインタビューの仕方を確認する。 ・日本語は使わず，モデルの会話を参考に英語でやり取りするよう指示し，机間指導する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(評) 言語活動に積極的に参加し，コミュニケーションで対話を行おうとしていたか。 (ワークシート・観察)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(評) Where? の用法を理解し，適切に運用することができる。 (発表・ワークシート・観察)</p> </div> <p>・Where? の用法について，生徒の理解を確認しながら，モニターや黒板を用いてまとめる。</p> <p>・本時の自己の取組を振り返り，次時への意識の継続を促す。</p>